

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ野外講座		
タイトル	内浦山県民の森の照葉樹林と紅葉を楽しむ		
実施日時	平成 29 年 12 月 5 日（火） 8 時～17 時 30 分		
実施場所	千葉県鴨川市：内浦山県民の森 勝浦市上植野・夷隅郡大多喜町会所：生活環境保全林		
受講者	39名	F I C 会員他スタッフ	7名

活動の内容

夷隅郡大多喜町と勝浦市に広がる国有林と内浦山県民の森を観察しながら歩きました。

大多喜町会所を出発して、勝浦市を通り県民の森まで北から南へ約5kmも歩くと、少しずつですが植生も変わって来ます。モミの巨木やオオモミジ、キッコウハグマやシラネセンキュウなどに足を止め、イタヤカエデ、ウリカエデの落ち葉を拾い、「番所跡」や「炭窯跡」の場所では、かつてのこの地域の歴史にも少し触れました。美しい空と山の景色を写した勝浦ダム、そして内浦山県民の森内の林道内浦山線へと進んで行きます。

途中、カギカズラやシタキソウ、キジョランなどのつる性植物が気になります。つるの伸び方や実の形、葉や花などの違いなども話題となりました。ブドウのような房状にたくさん実を付けたイイギリや、遅咲きのリンドウ、ほとんど花が終わりのイズノシマダイヤモンドソウ、この時期に赤い実が良く目立つノイバラ、ヤクシソウやミヤマシキミの蕾も見つけました。



出発地点のもみの木庵



キッコウハグマの観察



解説の一コマ



芝費広場で昼食

芝生広場でお弁当を食べ、午後は内浦山県民の森の林道奥谷（おくやつ）線での観察会です。台風 21 号で、元々そう多くはない紅葉が、ほぼ落葉してしまったため、ヤブツバキやヒサカキなどの常緑樹がより目立ちます。イタビカズラにサカキカズラ、コショウノキなどの暖地性植物や、スタジイ・アラカシ・コナラ・ウラジロガシなどのシイ・カシ類が多いコースでした。

晴れにしてくれたお天道様と、全てにおいて協力して下さったスタッフの皆様、そして約7kmの道のりを気にしないで歩いて下さった参加者の皆様に感謝の野外講座でした。



午後の観察会へ出発



参加者との会話が弾みます



一面緑の内浦山県民の森の山々